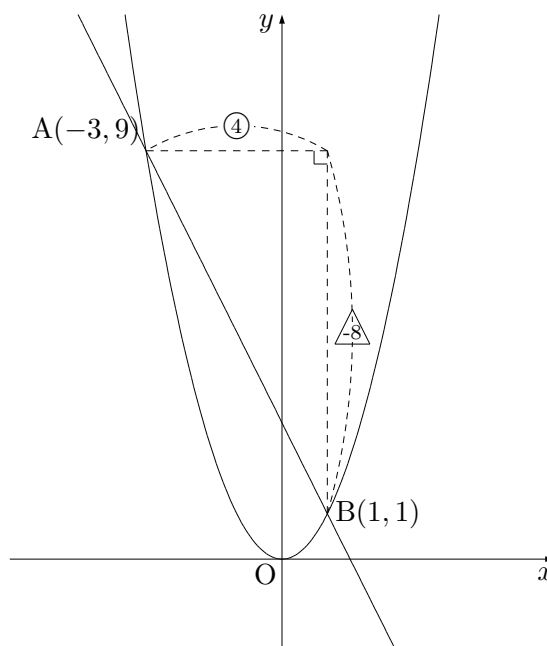
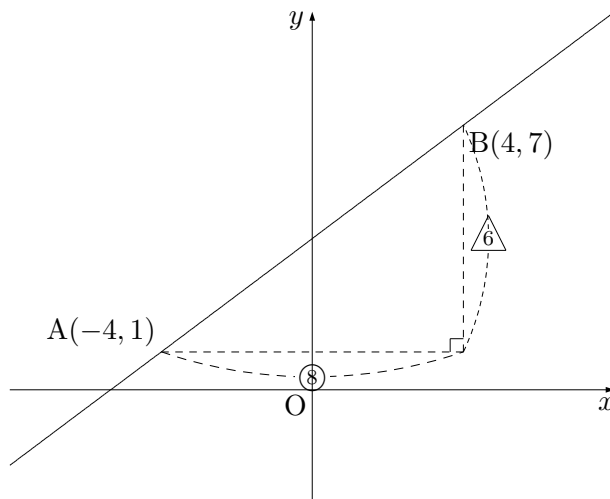


グラフ問題の攻略

1. 一次関数のグラフの式は目で見て求める。
 個人的感想だが、グラフが問題用紙に書いてあり2点の座標が分かるときは、その2点を斜辺とする直角三角形を作って直線の傾きを求めたほうが早い。ただ苦手な生徒は2点の座標を連立方程式を使って直線の式を捻出す作業をすることを勧める。勿論 $\frac{y \text{ の増加量}}{x \text{ の増加量}}$ を使ってもよし、その他の公式を使ってくれてもよい。
 この直角三角形こそ、 $\frac{y \text{ の増加量}}{x \text{ の増加量}}$ を求める作業であり、それがグラフの傾きになっている。図の○が x の増加量、△が y の増加量である。従って図1の直線の傾きは $\frac{\triangle 6}{\textcircled{8}} = \frac{3}{4}$ 、図2直線の傾きは $\frac{\triangle -8}{\textcircled{4}} = -2$ である。

ただ、グラフは常に右側に見る、つまり x 軸の正の方向を基準に見たほうが良いのでその辺り気を使ってください。個人的に x 軸の負の方向に見るのは好きではないので。



2. 問題で使う使わないは別として、分かる座標は全て問題用紙に書き込んでおく。

例

右の図のように直線 $y = \frac{1}{2}x + 2$ は点 A で直線 $y = -x + 5$ と交わる。このとき次の問いに答えなさい。

このような問題があった場合とりあえず分かる座標は全て求めておくのがよいと考える。それから問題を解いても余裕があるぐらいのスピードをつけたいものです。

